

想像力→創造力へ

梅雨明けもあとわずかです。本来であれば、東京オリンピック・パラリンピックの開催間近という時期ですが、コロナ禍の影響は今なおとどまることを知りません。

学年集会も全員でというわけにはいかないなので、2クラスずつ実施したり、この通信を活用したりしてみなさんに“思い”を伝えたいと思います。よろしくお願いします。

『想像力』。この言葉をきいてどんなことをイメージしますか。辞書で調べてみると【実際に経験していないことなどを推し量ること。また、現実には存在しない事柄を心の中に思い描くこと】(新明解国語辞典より)という風にならされています。このことをみなさんの日常生活に置き換えるとどうでしょうか。普段皆さんは、この想像力をはたらかせて生活していますか。相手の気持ちを推し量りながら、声かけができていますか？想像力でもあり、これが思いやりにつながるように思います。提出物で考えてみましょう。提出物はただ出せばいいのでしょうか？想像力をはたらかせると、それを見る人(先生)がいます。社会に出れば、提出書類の先に、取引先の企業がいます。会社の信用にかかわります。そう考えると、「ただやって出せばよい」のではなく、その先にそれを待つ人がいることを想像すると「丁寧にやろう」「期限を守ろう」「伝わりやすいように・・・」などと思えてきます。想像することで「自分中心」から脱却し、その先の事柄や人のことを考えて行動できます。この想像力を一人一人がはたらかせ、考えて行動することができる集団になりましょう。抽象的で、少し難しい話ですが、これからのみなさんに身に付けてもらいたい力の一つです。その想像力の豊さが、人生の豊かさをもたらしてくれるはずですよ。

合同班長会 実施 ～学力UPウィークに向けて～

16日、2年生になって初めての「合同班長会」を実施しました。各クラスの新班長と学級委員で実施しました。議題は、「学力UPウィーク(2分前着席の取組編)」についてでした。今の現状を見ると、先生に促されて座る場面が多いように思います。そこ

で、学年リーダーを中心に自分たちで声かけをして、2分前着席&2分前学習(予習や復習)に取り組めます。そのために班長として、学級委員としてどう行動するかということをお考えください。昼休憩の短い時間の中で、自分たちの班のメンバーのことを考えてどう声かけするかなど考えることができました。これから、1学期最終日の7月31日まで実施します。学年集団として、この取組を通して高まっていきましょう。集団の高まりが個を高め、個の高まりが集団を高めます。1学期の集大成として良い締めくくりができるようにしましょう。



自主参加の高校説明会を終えて

15日に行われた高校説明会に2年生から約40名が参加しました。緊張感溢れる中、先輩方に交じって必死にメモを取ったり、話をきいたりする姿が印象的でした。説明会後の緊張感から解放された表情と、充実に満ちた表情が印象的でした。「自分で情報を得る」このことを通して、自分はどんな道に進みたいのか自己を認識できます。その営みを繰り返すことで自分の進みたい方向性を選択していけます。受検(験)は3年生になってから・・・という概念を捨て、この時期から自分の進路と向き合みましょう。



オススメ図書シリーズ 第1弾～小坂先生編～



「きみを強くする50のことば」

著:工藤 勇一(かんき出版)

自分の中の当たり前が「なあ～んだ、こんな考え方もあるんだ」と読んでいて元気になる50のことばが書かれています。多様な考えができるヒントのつまった1冊です!